

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ●京丹波

広報 | 京丹波

No.98

2013年12月17日発行

12月号



寺尾町政

二期目がスタート

特集

寺尾町政二期目がスタート
まちづくりへの思いを問う



今月の表紙

平成25年11月5日告示の京丹波町長選挙において当選した寺尾町長。初登庁となった11月22日には、駆けつけた町民など約160人を前に二期目へかける思いを語りました。

NO.98 CONTENTS

- 2 【特集】寺尾町政二期目がスタート
まちづくりへの思いを問う
- 6 町民の代表が決まる
京丹波町議会議員一般選挙
- 8 町民に寄り添い相談に応じる
民生委員・児童委員および主任児童委員が委嘱される
- 9 【シリーズ】健康生活のススメ
『生きがいを持ったいきいき生活のススメ』
- 10 Dr's Message いきいき健康術
- 12 **FLASH** KYOTAMBA TOWN NEWS 2013
 - 食の町に人々集う
—京丹波●食の祭典2013
 - 支援の力を届ける
—京丹波から秋の恵みを届け隊
 - 福祉の現場を学ぶ
—和知中学校福祉体験学習発表会
 - 秋の京丹波を走る
—2013京丹波ロードレース
 - 地域防災へ団員ら議論
—消防団員図上訓練
 - 大地の恵みに感謝し住民が交流
—上和知中部収穫感謝祭
 - 地域の食文化を守り受賞
—食生活改善推進員協議会丹波支部厚生労働大臣表彰を受賞
 - 秋の実りの監視人づくり
—賞美秋のふれあいまつり
 - 音楽を通して住民ら交流
—三ノ宮ふれあいまつり
 - 町有施設を障害者のよりどころへ
—町有施設を活用し生活介護支援事業所スマイル開所式
- 16 **シリーズ** 季節の食材を使った
お手軽料理レシピ

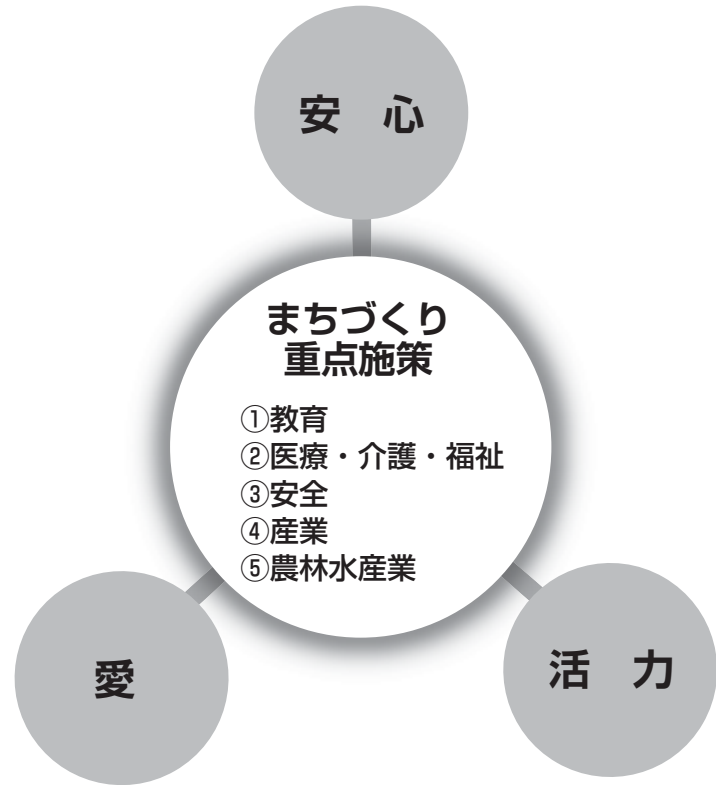
特集

寺尾町政二期目がスタート

まちづくりへの

思いを問う

十一月五日告示の京丹波町長選挙で二期目の当選を果たし、引き続き町政を担うことになった寺尾豊爾町長。寺尾町長に、一期目から掲げる「安心」「活力」「愛」を基本とした今後のまちづくり方針などをインタビューしました。



活力

安心

愛

町民が幸せになるまち「京丹波町」へ

死ぬまでの生涯を通じたサービスが充実すれば、私が思い描く愛が満ちてくると思っています。

寺尾町長が選挙公約で掲げられた「安心」「活力」「愛」の三本柱をより確かなものにするまちづくり。公約実現のための重点施策についてインタビューしました。

1 教育

—幼稚園・保育所から大学院まである京丹波町。どういったまちづくり・ひとづくりをしていくお考えですか。

町長 これから行政として投資しないといけないのは「人」。人の力は、応援を求めることはあっても最後は育てた人の力と一緒にまちをつくっていくことになると思っています。

町として、最後にはまちづくりに貢献してくれる人を輩出したいと考えています。もちろん、ここで学び、町外で活躍されることもよいことだと思います。

—町長が四年間で実現させたいと考える教育のあり方とはどのようなものですか。

町長 現在、国では幼保一元化の動きが進んでいます。京丹波町でも「子ども・子育て審議会」を設置して審議していただいています。「二元化」という答申が出れば、いち早く取り組んでいきたいというのが私の思いです。

施設の建設に際しては、場所が一番大事だと考えています。理想は丹波自然運動公園やゴルフ場のような場所が良いと考えています。車と人が出会うことなく預かることが可能なので安心して預けられるし、預かるほうも充実した保育・教育が実施できると思います。都会の真似をしたような施設の設置には疑問を感じています。

また、自分たちの子どもの頃から比べると、天候が変わり、雪は減っているのに寒さは変わらず、とりわけ夏の暑さは厳しいです。五月くらいから十月くらいまで暑い年もあります。今後は教育委員会とも協議し、エアコンの設置を検討していきたいと考えています。

—町内には、須知高校、京都大学大学院農学研究科の附属農場などがありますが、町内の小中学校との連携はどのようにお考えですか。

町長 小学生の頃から京都大学がどういふものかを体験していくと、中学生・

生涯を通じたサービスで愛が満ちるまちへ

—二期目の町政スタートにあたり町民の皆さんにひとことお願いします

町長 私は、町民の皆さんから「心安く声をかけてもらえる町長でありたい」と思っています。また、役場も気安く来てもらって相談してもらえる役場であってほしいと考えています。そういう関係が私の町政にあたる全ての原点だと思います。

—町長就任にあたりまちづくりの基本方針をお聞かせください。

町長 まちづくりの基本方針の一番は「安心」。安心を得るためには、いろいろな産業が元気にならないといけません（活力）。産業が元気なら「安心」を得ることに予算を使うことができます。そういう意味でも「活力」に配慮することを掲げています。「愛」は町政全般の話。安心を得るために働く場があって、京丹波町が一定の安定があれば愛があふれてくると考えています。

医療・介護・福祉など、生まれてから

高校生になったときに、京都大学を目指すということに結びつくのではないかと考えています。

また、須知高校は町内唯一の高校であり、伝統もあります。十八歳くらいまで地域にいれば、そこが「ふるさと」と考えるようになると思います。

そういう意味でも、今後も須知高校を守り、行政に要望があれば積極的に支援していきます。

2 医療・介護・福祉

町立医療機関の運営についての考えをお聞かせください。

町長 京丹波町病院は、昔の町医者のような「かかりつけ医」を目指していきたいと考えています。

かかりつけ医としての役割を十分果たす病院として、大病院とは医療的役割を分担していきたいです。家庭医的な医師を増やして、在宅介護が増えたときは、積極的に訪問し、また、医師の指示を受けて看護・介護をしていくまちにしていきたいと考えています。

病院と通信網を活用して連絡をとりあう実験もしてきたので、時期が来れば取り組みたいと思います。

町長 この町は農林業が中心の町。できることは限られている面もあると思います。今の時代、農業は自分たちで作ったものを自分たちで売ることが非常に大切な時代だと思うので、朝市などの振興が生きがいにつながると思います。

課題点がありますか。

町長 鳥獣被害について、なかなか成果が出ていないのが現状です。しかし、防護柵などに投資しないと被害は広がるので、今後も充実させていきます。良いものは積極的に導入していきます。

最近、サルの被害をよく聞きます。地域をあげて取り組める場合は、役場としてきっちり支援していきます。

林業の振興については、どうお考えですか。

町長 林業の経験はありませんが、逆に林業への思いは強くあります。

林業大学の誘致とともに、林業が非常に盛んな北海道下川町とも友好関係になりました。下川町のように、本町でも木質資源を最大限生かすまじづくりは可能と確信しています。木材として活用するとともに、燃料としても最大限活用できるように施策を打ち出していきたいと考えています。

地域包括ケアについて具体的にはどのようにお考えですか。

町長 医療が充実していないと地域包括ケアの実現は難しいと思っています。医療が充実すると、看護や介護・保健も充実してくると思います。安心の京丹波町はまず医療を口火として取り組んでいきたいという思いです。

私たちのまちの私たちの病院が中心になって、看護・介護も自前でサービスが受けられる町にしていきたいと考えています。

また、介護状態になる前のサービスを充実させないと、人生として意味がないと考えています。健康長寿のまちにしたいと思っていますので、介護前の施策をさらに充実させていきたいと考えています。もちろん、介護が必要になれば、国・府の制度を活用し、誠実に対応します。

3 安全

安全・地域防災についてどのようにお考えですか。

町長 気候が変わって、雨の降り方も以前と変わってきました。防災といっても難しい面もありますが最大限の努力はしていきます。

しかし、原子力災害などの被害を防ぐまずは、公共施設からまきを使ったスートの設置をすすめたいと思っています。各家庭で利用してもらうためには、次の段階としてチップなどに加工して普及させたいと考えています。

食を生かした農林業の振興について、

お考えを聞かせてください。

町長 ハイウェイ・テラスや道の駅、朝市などで売ることが重要な手段。また、お祭りを開いて積極的に発信することは大事だと思います。まずは、そこに来てもらい、普段も町を利用してもらうようにしたいと考えています。

「食の宝庫」といわれてきたことを生かさない手はないと思っています。

6 その他

未活用の町有地の活用方法についてお聞かせください。

町長 あまり表現はよくありませんが、一般に塩漬け土地といわれる土地などについては、いよいよこれを活用したまちづくりをしていかないといけないと思っています。

まずは、貸していくことになると思いますが、私としては、使いにくいところから活用したいと考えています。町外の業者でも町内の業者でもいいので、使っ

ことができない災害もありますので、まずは逃げるのが大事と思っています。

東日本大震災や奈良県・和歌山県の豪雨で助かっている人たちがいます。その人たちは日ごろから避難訓練を行ってきたと聞いています。これからも、避難訓練を行いたいと考えています。

4 産業

畑川ダム関連、京都縦貫自動車道関連などの基盤整備について考えをお聞かせください。

町長 京丹波町にとつては、今がチャンス。の時期だと思っています。縦貫道が最後に工事され、パーキングエリアも予定されています。

本町は京阪神と日本海の中間であり、非常に良いロケーションにあります。それを最大限に生かした沿道サービス、まちづくりを（仮称）ハイウェイ・テラス京たんばという事業としています。

いろいろな事業者が集まって商売を果たしてくる大事な施設になると考えています。

また、ハイウェイ・テラス京たんばは、どの地域からも等しく出荷できる出荷者協議会を立ち上げて、作ったものを競っ

て売れるようにしたいと考えています。

既存産業の活性化への考えをお聞かせください。

町長 災害が発生し、土木建築業は、忙しい時期だと思っています。産業全体で平時でも安定して経営していただくための制度を引き続き行っていきたいと考えています。

また、プレミアム商品券発行の支援も継続します。こういう事業で、町内の経済を活性化していきたいと考えています。

丹波自然運動公園にはトレーニングセンターもできますか。

町長 丹波自然運動公園は、町の宝の一つとして位置づけられました。トレーニング構想については、町としてもいろいろ提案した結果、京都府が十六億九、〇〇〇万円をかけて本格的に事業に着手されることになりました。この施設から、団体やオリンピックに出る選手が出ることを願っています。

5 農林水産業

農業の振興については、どうお考えですか。

人の人生が幸せになると思います。幸せになれば、モノや心が豊かになる。心が豊かでない、幸せは実感できないのではないのでしょうか。大自然や周囲の人全ての助け合い、支えあい、絆全てが私にとっての「愛」という表現になります。京丹波町に愛が満ちあふれることが、私にとって今の人生の目的であり、そういうまちづくりをしていきたいと考えています。

「京丹波町に住みたい」「京丹波町で子どもを育てたい」という町にしたいのが私のまちづくりに対する思いです。

「愛」があふれるまちへ

町長が考えられる「愛」について聞かせていただけますか。

町長 都会の真似では幸せになれません。大自然に抱かれて生活している人が、大自然を大事にしながら活用して生活していく。そのことで、町民の皆さ



新議員の顔ぶれ

(50音順、敬称略、氏名、年齢、所属、現・新、住所の順)



梅原 好範(54)
無所属、現
(市場)



岩田 恵一(60)
無所属、現
(質美)



野口 久之(68)
無所属、現
(曾根)



鈴木 利明(74)
無所属、新
(下大久保)



篠塚 信太郎(66)
公明党、現
(実勢)



坂本 美智代(60)
日本共産党、現
(質美)



北尾 潤(37)
無所属、現
(蒲生)



松村 篤郎(71)
無所属、現
(下山)



東 まさ子(65)
日本共産党、現
(高岡)



原田 寿賀美(67)
無所属、現
(才原)



山内 武夫(63)
無所属、現
(妙楽寺)



森田 幸子(62)
公明党、現
(須知)



村山 良夫(72)
無所属、現
(安井)



山田 均(65)
日本共産党、現
(保井谷)



山下 靖夫(72)
無所属、新
(橋爪)



山崎 裕二(39)
無所属、新
(蒲生)

町議会議員一般選挙結果

(敬称略)

	候補者氏名	得票数
当選	梅原 好範	1,149票
当選	篠塚 信太郎	792票
当選	森田 幸子	715票
当選	鈴木 利明	565票
当選	東 まさ子	561票
当選	原田 寿賀美	559票
当選	山田 均	537票
当選	北尾 潤	532票
当選	坂本 美智代	510票
当選	村山 良夫	483票
当選	山下 靖夫	476票
当選	野口 久之	466票
当選	松村 篤郎	440票
当選	山内 武夫	408票
当選	山崎 裕二	392票
当選	岩田 恵一	333票
	谷山 眞智子	233票
	上田 實	47票
	(無効)	119



投票は、午前七時〜午後八時に町内二十五投票所にて実施。当日の有権者数は二、三、九九九人(男性六、三〇四人、女性七、〇九五)で、投票者数は、九、三二七人、投票率は、六九・五四%となりました。

なお、期日前投票者数は二、七二二人で当日

任期満了に伴う京丹波町長・京丹波町議会議員一般選挙が十一月五日に告示。町長選は、立候補者が寺尾豊爾氏(和田)一人であったため投票は行われず、再選が決まりました。

町議選には、定数十六に対して十八人が立候補し、激しい選挙戦が展開されました。

十一月十日に行われた投票の結果、多くの町民から支持を得た新議員十六人が決まりました。



慎重に枚数を確認する職員(町中央公民館・蒲生)

の有権者数の二〇・三二%を占めました。

開票は、午後九時から町中央公民館で行われ、選挙管理委員や立会人をはじめ、大勢の参観人が見守る中、十時二十二分に終了し、当選者が確定しました。

選挙結果と新たな町議会議員の顔ぶれは次ページのとおりです。

町長選挙・町議会議員一般選挙結果 寺尾町長再選 新議員十六人決まる

民生委員・児童委員および主任児童委員が委嘱される

常に住民の立場に立って相談に応じるとともに、必要な援助を行う「民生委員・児童委員」と、子どもに関することを専門的に担当する「主任児童委員」。このたび、12月1日付けで一斉改選が行われ、12月2日に町中央公民館で退任式および委嘱辞令の伝達式を行いました。

日ごろの生活や子育てに関することで相談したいことや支援が必要な場合は、下記の方々にご相談ください。(敬称略)



【新委員】 民生委員・児童委員

- 丹波地区**
 - 上野/樹山静代
 - 蒲生/岡本英子
 - 蒲生野/石田美恵
 - 曾根/院内幸野・森/岩崎桂子
 - 塩田谷/安井/小室志げ美
 - 富田/太田志げみ
 - 寺阪正美
 - 豊田/上田知宏
 - 北村洋子
 - 上豊田/堀内奈緒
 - 西田美代子
 - 実勢/岩波茂夫
 - みのりが丘/谷口通代
 - 下山(駅前・黒瀬)/藤田範行
 - 下山(尾長野・蕨・新田)/寺井 茂
 - 下山(知野辺・白土)/山中政行
 - グリーンハイツ/吉川文則
 - ▼日野原一彦
 - ▼細見 守
- 瑞穂地区**
 - 中台/庄林藤夫
 - 橋爪/稲元幹生
 - 和田/稲元輝代
 - 井脇/松野美代子
 - 大朴/友金一文
 - 井尻/長谷/吉見政和
 - 八田/小野/阪内敏明
 - 坂井/水原/由良賀代子

- 和知地区**
 - 上大久保/辻 雅
 - 下大久保/西山美佐
 - 鎌谷下/東又/太野正平
 - 鎌谷中/田中 強
 - 鎌谷奥/奥井光春
 - 保井谷/栗野/上山妙子
 - 瑞穂地区
 - 妙楽寺/三ノ宮/上田 進
 - 水呑/藤井美代子
 - 猪鼻/西村明男
 - 行仏/中村/三好 稔
 - 庄ノ路/和田/上野/林 啓治
 - 白屋/老ノ路/空路/大西晴乘
 - 中野/北久保/的場 正

- 和知地区**
 - 広野/片山勝紀
 - 出野/稲次/片山幸子
 - 安栖里/片山茂雄
 - 小畑/堀川勝久

【退任】

- 丹波地区**
 - 横山育子
 - 小峰喜代子
 - 原澤真知子
 - 安井百合子
 - 奥村益子
 - 杉本知子
 - 中村京子
 - 中安幸代
 - 横川 壽
 - 田井實榮
 - 野口明子
 - 小野隆良
 - 林登志男
 - 渡邊妙子
 - 松岡知子
 - 樋口八重子
 - 村上幸子
 - 東子ズ子
- 瑞穂地区**
 - 酒井ゆり子
 - 平尾春雄
 - 稲元茂實
 - 竹内美代子
 - 上田良二
 - 東利博
 - 宇野文子
- 和知地区**
 - 小林衣江
 - 梅原千代美
 - 乾きよの
 - 堀 鈴代
 - 堀利子
 - 井川仁司
 - 榎本藤雄
 - 片山和代
 - 野間智子
 - 松下博幸
 - 才村清治
 - 下村嘉寿恵
 - 片山良子
 - 正田恭丈
- 主任児童委員**
 - 全域/清水淳之助
 - 谷久美子
 - 大西好美
 - 寺谷すま子
 - 藤田道子
 - 出野悦子
 - 松村悦子
 - 稲葉文男
 - 上田美恵子
 - 下村恵子
 - 江本範子

このコーナーは、町立病院診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は、国保京丹波町病院の林真紀看護師長(第2)。健康増進のために始める人も多いウォーキングの意外な効用についてのお話です。

あるアンケートで「今後やってみたい運動は何ですか」の質問に「ウォーキング」と答えた人が第一位でした。なんと、平成三年以来ずっと首位だそうです。ごいすね。

ウォーキングはゆっくり時間をかけながら体内に酸素を取り入れる「有酸素運動」です。効用としては、
① 肥満解消、体脂肪の燃焼
② 新陳代謝を促進
③ 生活リズムを整え寝つきや寝起きがよくなる
などがありますが、皆さんにぜひ知っていただきたいもう一つの効用、それは「ストレス解消」です。

毎日、誰もが何らかのストレスを抱えて生活しています。人に八つ当たりをしたり、わけもなく気が滅入ったりそんな事はありませんか。人間は脳に酸素が不足するとイライラしたり集中力がなくなったりするといわれていますが、歩いているときの脳への酸素の供給量は、なんと安静時より三〇%〜五〇%もアップするそうです。ウォーキングをすることで、もしかするとそんな悩みやストレスが解消するかもしれません。

最近、ウォーキングをしている人が多いことに気がつくと思います。ウォーキングを誰かに見られたら恥ずかしいと思ってしまうませんか。それはもったいない。背筋を伸ばしきつそうと歩いてみてください。少し勇気を出してさあ始めてみましょう。きつと歩くことが楽しくなり、体を動かすことも楽しくなると思います。



看護師長(第2) 林 真紀 さん

自分のペースを保ちながら二人で歩くのもいいでしょう。誰かと話しながら歩くのも楽しいと思います。普段、車で通っている道も歩いてみると新しい発見がいっぱいあります。

これから寒くなりますが、ウォーキングするには良い季節になってきました。老若男女を問わず長く続けられるウォーキングをおすすめします。ウォーキングで心と体の元気回復!

(注意)医師に運動を制限されている方、足や関節、膝、腰などに痛みのある方は主治医に相談してから始めるようにしてください。

京丹波町病院情報

京丹波町病院では、毎月の第二・第四土曜日の午前中に内科と小児科の診療を行っています。

☎86-0220

『ウォーキングでストレス解消!?!』

【シリーズ】

健康生活のススめ

第8回 「生きがいを持った いきいき生活のススめ」



今回は、平成24年度に京丹波町健康プラン21の中間評価として実施しました「生活アンケート」の結果をもとに、「心の健康」についてお伝えします。

※京丹波町健康プラン21は平成22年3月に策定した町の健康増進計画。乳幼児期から高齢期まで、それぞれの健康課題の解決および健康増進に向けた目標を定めています。

『生きがい』『役割』 ありますか

皆さんは生活する上で『生きがい』や『役割』がありますか。近年『生きがい』についての関心が高まっています。人生の満足感・充実感を推し量る重要な指標となってきたからです。では、より充実した生活を送るため、多くの『生きがい』を得るためにはどうすればいいのでしょうか。京丹波町健康プラン21の生活アンケートでは、心の健康状態の指標として『生きがい』『役割』についてアンケートを実施しました。その結果から『生きがい』について考えてみたいと思います。

■生きがい

『生きがい』があると答えた方は、男性で八六・五%、女性で七八%でした。性別に関係なく多くの方が生きがいを持ち生活されている様子がわかります。

この中で、男性の生きがいは①労働②趣味③家庭の順で高く、女性は①趣味②労働③家庭の順に高い状況でした。(表1)

女性は生涯を通じた生きがいを持つ割合が高いですが、男性は年齢が高くなるとともに生きがいとするものが減る様子がわかります。(表2)

年齢を重ねても『生きがい』をもち続けることが課題であることがわかります。

表1 「生きがい」がありますか

男性 86.5%	あり	女性 88.0%
①労働 42.7%		①趣味 45.5%
②趣味 32.6%		②労働 33.5%
③家庭 20.3%		③家庭 31.3%
④その他 11.5%		④その他 8.4%
⑤健康 8.3%		⑤健康 4.9%

■役割

『役割』があると答えた方は、男性八七・九%、女性九三・三%と多く、皆さん何らかの『役割』を持つて生活されている様子がわかります。(表3)

男女で内容にばらつきはありますが、農業の実施者としての役割は、双方で高い結果となりました。

女性は生涯を通じ『役割』を持っている人の割合が多いのに対し、男性は六十五歳から七十五歳をピークに『役割』が増加する様子がわかります。(表4)

表3 「役割」がありますか

男性 87.9%	あり	女性 93.3%
①実務的 41.2%		①家事 64.1%
②農業 25.3%		②農業 18.0%
③その他 13.1%		③その他 16.3%
④仕事 11.4%		④趣味 8.8%
⑤趣味 10.3%		⑤実務的 7.2%

生きがいある生活は 認知症を予防します。

夢中になれることを行っているときは、脳が活発に動き、脳への血流も良くなります。結果、脳が活性化されることで、認知症を予防してくれるといわれています。

また、人との交流が認知症予防に効果があることはいうまでもありません。人とのかわりを生涯持ちながら、いきいきと生活しましょう。

いきいき生活のススめ

①人と積極的に交流しましょう。

家に閉じこもらずに一日一回は誰かと交流しましょう。

身近な地域活動に参加し、社会と交流を持つことをお勧めします。お住まいの地域の行事やサロン活動などに積極的に参加しましょう。仲間の多い人ほど生きがいを感じる人の割合が多いという報告もあります。

既に参加されている方は参加されていないご近所の方を誘ってみましょう。

人との交流が苦手な方は、買い物や散歩など、外の空気を吸い、日々変わり行く景色を感じ取るだけでも新鮮な気持ちになります。

②「役割」を持ちましょう。

何歳になっても、自分にできる「役割」があると、いきいき過ごすことができます。難しいことなく、家庭内の簡単な内容で十分ですので、自分の役割を探してみましよう。女性は思い切って男性に任せる勇気も必要です。

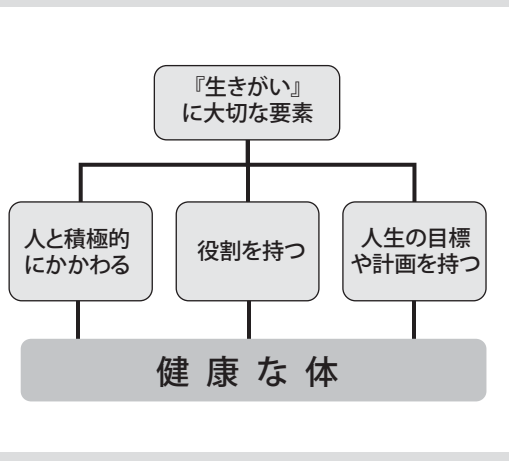
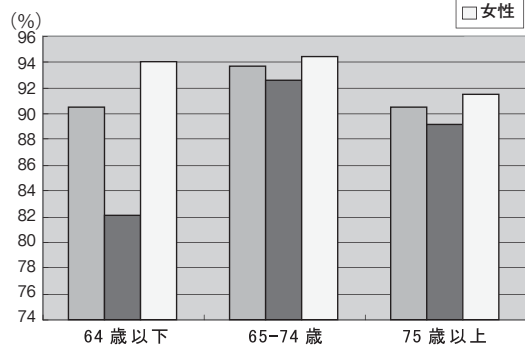
③目標や計画をたてましょう。

具体的な目標をたて「それを成し遂げたとき」や「人に喜びを与えたとき」「社会への貢献ができたとき」などに満足感や充実感が得られ生きがいを強く感じます。

④健康な体が基本です。

健康状態の良い人は生きがいを感じやすく、行動範囲も広がります。定期的な病院受診や町の健診事業を活用し、健康維持をはかりましよう。

表4 役割のある人



地域のよりどころへ



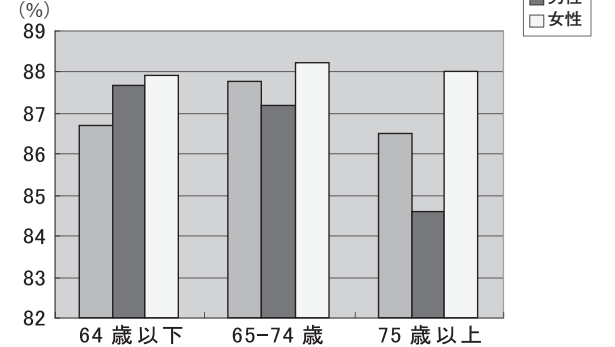
尽きない話題で盛り上がる竹野サロン(京都丹波食彩の工房・高岡)

竹野地区では、本年度六月二十九日に設立した竹野活性化委員会が同地域内にある「京都丹波食彩の工房」の一部を活用し「竹野サロン」を毎週木曜日に開設しています。

サロンでは、スタッフである住民がコーヒーやお茶などを提供。十月三日のオープン以来、地域住民をはじめとして毎回六十人以上の人が訪れ、地域の話題などの話に花を咲かせています。

スタッフにも訪れる人にも役割と生きがいを提供している「竹野サロン」。オープンしてまだ二カ月ですが、すでに地域の元気の源となっているようです。

表2 生きがいのある人



食の町に人々集う

■京丹波●食の祭典二〇一三

町内の「食」が一堂に会するイベント「京丹波●食の祭典二〇一三」が十月二十七日、丹波自然運動公園および府立須知高等学校を会場に開催。町内外から約一万一、〇〇〇人が来場しました。

自然公園会場では、丹波牛や新鮮な野菜など、京丹波の食材を使った「屋台グランプリ」などが開催。来場者らは、出品作品を何点



来場者でいっぱい会場(丹波自然運動公園・曾根)

も購入して味わっていました。

収穫感謝祭と同時開催となった須知高校会場では、生徒らが調理した石釜ピザや炊き込みご飯などが販売され、買い求める人が長蛇の列を作っていました。

また、今回の祭典に合わせて北海道下川町の安齋保町長が来町。九月の台風十八号で被害を受けた本町に対し、寺尾豊爾町長へ見舞金を手渡しました。

なお、屋台グランプリとともに祭典内で行われた「あつたらいなこんな食べ物」の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

【屋台グランプリ】

グランプリ
丹波を牛う〜と〜煮込んだ
ロコモコ丼(Café Moka)
準グランプリ

- 黄鶏丼(かしわどん)
- (グリーンランドみずほ株式会社)
- 京丹波ポーク豚丼
- (サンダイコー株式会社)
- 丹波ぎゅうぎゅう丼
- (丹波牛のいづつ屋)
- 京丹波まるごとカレー
- (梅田地域振興会テイクッキング梅田店)

「あつたらいなこんな食べ物
アイデアコンテスト」
最優秀賞
丹波のめでたい紅白大福

優秀賞
三種の野菜みたらしダンゴ
尾寄凛(和知小五年)

京まん
大西実佑(蒲生野中二年)
酒かす牛コロッケ
小林祐也(花園高三年)

特別賞
京丹波味わいぎゅうしりキッシュ
長田路世(大阪府箕面市)
丹波特産スティックバー
藤原樹理(蒲生野中一年)
京丹波飯
藤村美月(和知中一年)



屋台グランプリの入賞者(丹波自然運動公園・曾根)

福祉の現場を学ぶ

■和知中学校福祉体験学習発表会

和知中学校で十一月十五日、福祉体験学習の発表会が行われ、生徒らが、実際の福祉の現場で知ったことや感じたことを発表しました。

この発表会は、京都府が五年前から取り組む「次世代の担い手育成事業」の一環として開催。生徒たちは、福祉施設の職員などを講師に招いた授業や、福祉施設での職場体験を通して、高齢者や障害者が置かれた現状を知ると

もに、支援する人の苦勞や支援をするうえで工夫していることなどを学びました。

高齢者施設での職場体験を発表したグループは、耳の聞こえにくい利用者の方との会話に苦勞したことなどをあげ、職員の人たちがいつも耳元で聞こえるように話していたことなどを報告しました。

生徒らは「施設を利用して人たちのできることとできないことを理解して話すことの大切さを学びました。高齢者の人と話す



体験内容を発表する生徒(和知中・市場)

のは楽しく、勉強になりました」と、今回の体験学習の成果を話していました。

秋の京丹波を走る

■二〇一三京都丹波ロードレース

京都丹波ロードレースが十一月三日、丹波自然運動公園を発着点として開催。三、六八五人のランナーが、紅葉の季節を迎える丹波路を駆けぬけました。

ランナーは、三キロからハーフマラソンまでの五種目三十一部門にエントリー。日ごろの練習の成果を発揮して、沿道の声援にこたえながら走っていました。

発着点となった丹波自然運動公園では、菊花展とうまいもの市も開催。うまいもの市では、町内の豊富な食材を生かしたメニューが販売され、走り終わったランナーや来園者などが、京丹波の秋の味覚を堪能していました。

なお、ハーフマラソンでは、男子二十九歳以下の部に出走した松尾哲裕さん(よさの走友会)が優勝しました。



続々とコースを駆け抜けるランナー(丹波自然運動公園・曾根)

支援の力を届ける

■京丹波から秋の恵みを届け隊

社会教育委員による友好町福島県双葉町の皆さんを支援する取り組み「双葉町へ 京丹波から秋の恵みを届け隊」がこのほど行われ、本町で今年採れた新米や黒大豆の枝豆などが、双葉町の皆さんへ届けられました。

中野昭さん(豊田)をはじめとする社会教育委員五人と町職員らによる届け隊は、十月二十九日から三十一日まで、福島県いわき市の仮設住宅や同市にある双葉町役場いわき事務所を訪問。町民の皆さんなどから提供いただいた新米約二千二百キロと黒大豆枝豆約二百キロなどを届けました。

仮設住宅を訪れた届け隊の皆さんは、双葉町の皆さんとともに、持参した黒大豆枝豆やもちなどを食べながら交流を深めました。



届けられた新米などを食べる双葉町の皆さん(いわき市南台仮設住宅集会所・福島県いわき市)

地域防災へ団員ら議論

■消防団員図上訓練

府消防協会南丹船井支部主催の図上訓練が南丹市国際交流会館コスモホールで開催。本町および南丹市の幹部消防団員約七十人が九月の台風十八号での活動を振り返りながら、今後の消防団活動を考える訓練に取り組みました。

訓練では、人と防災未来センター(神戸市)の近藤伸也研究主幹を講師に招き、台風十八号出动時の成果と課題を出し合うワークショップと、架空の地域を設定し、図上で災害時の消防団としての対応を検討しました。

団員らは「情報の共有」や「早い時間からの活動」など、出された課題をもとに今後の活動に向け活発な意見交換を行いました。



台風災害を振り返り、意見交換する消防団員(南丹市国際交流会館・南丹市園部町)

大地の恵みに感謝し住民が交流

■上和中部収穫感謝祭

上和中部村おこし委員会主催の秋の実に感謝するイベント「収穫感謝祭」が、十一月九日、篠原体育館および周辺で開催されました。

会場では、同委員会を組織する六地区の住民が、地域で取れた黒大豆の枝豆をトッピングしたカレーやくりごはん、つきたてのもちなどを販売、買い求める住民らと和やかに会話していました。

同委員会の白樺貢会長は今年

で四回目の開催となったことを受け、「地域の皆さんが積極的に取り組んでくれて、定着してきました。こういう取り組みを通して交流が深まることはうれしいことです」と、大地の恵みに感謝するイベントを通して地域のつながりが強くなることを喜んでいました。



手作りの商品を通して交流する住民ら(篠原体育館周辺・篠原)

地域の食文化を守り受賞

■食生活改善推進員協議会

丹波支部が厚生労働大臣表彰を受賞

京丹波町食生活改善推進員協議会丹波支部(会員数三十三人)がこのほど、日ごろの町民の食生活改善に向けた活動を評価され、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

防や子育て支援を目的とした料理教室の開催など、地産地消を心がけた地域の健康づくりに取り組んできました。



受賞した食生活改善推進員協議会丹波支部の皆さん(町中央公民館・蒲生)

音楽を通して住民ら交流

■三ノ宮ふれあいまつり

三ノ宮地域の秋の交流イベント「三ノ宮ふれあいまつり」が十一月二十四日、三ノ宮体育館などで行われました。

今回のふれあいまつりは、「何か新しい取り組みをしたい」という意見から、新たに地域の消防団員などを中心に実行委員会を組織。細見浩樹さん(保井谷)を委員長として、従来からの模擬店の出店や作品展示のほか、音

楽イベント「三ノ宮音楽祭」に取り組みました。

音楽祭には、広島県を中心に全国で活躍するグループ「こゆみこ」が出演。来場した地域住民らは、こゆみこの演奏する世界でも珍しい木管楽器「クラビオーラ」などの優しい音色に聞き入っていました。

また、体育館周辺で行われた模擬店では、住民らによるうどんや地元で取れた野菜などを煮込んだ大なべのほか、イノシシとシ



来場者の手拍子に合わせて演奏するこゆみこのメンバー(三ノ宮体育館・三ノ宮)

町有施設を障害者のよりどころへ

■町有施設を活用し生活介護支援事業所が開所

町有施設を活用した障害者施設「生活介護支援事業所スマイル」がこのたび開所。十一月十三日、同事業所で開所式が開催されました。

同事業所では、障害のある人が日中に食事などの支援を受けながら創作的な活動なども行える「生活介護」と、丹波支援学校の放課後預かりや共同作業所が

休みとなる土日などの生活場所となる「日中一時支援」などのサービスを提供。両事業合わせて、現在約十人が利用しています。

事業所を開設した特定非営利活動法人スマイルの前田稔理事は「この地域に開所できたことを非常にうれしく思っています。これから地域に根ざした活動をしていきたいです」と、開所を祝う出席者に笑顔で答えながら、施設運営への意欲を語っていました。



開所式であいさつする前田理事長(写真中央)(生活介護支援事業所スマイル・富田)

事業所を開設した施設は、これまで倉庫などとして使用していた町有施設を同法人が借り受け、開所に向けて改装しました。

秋の実りの監視人ずらり

■質美秋のふれあいまつり

地域の文化活動の振興と秋の恵みに感謝するイベント「質美秋のふれあいまつり」が十一月十七日、旧質美小学校で開催されました。

会場内では、今回初めてかかしコンテストを開催。地域住民が協力して作り上げたかかし二十二体がグラウンドに並びました。会場を訪れた来場者は、それぞれ特徴あるかかしを足を止めて見入っていました。

このイベントは、書道や手芸など、文化的な活動に取り組む人たちの発表の場づくりと、秋の恵みに感謝して人たちが集う場として地域内の団体が五年前から開催。今回から、地域で「質美笑楽講」として活用が進む旧質美小学校を会場として開催しました。



ずらりと並んだかかしを見学する来場者(旧質美小学校・質美)

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税制度により、大阪府河内長野市在住の古田俊雄さんから「魅力ある産業をはぐくむまちづくり」に役立ててください」と、五万円の寄附をいただきました。ありがとうございました。

職員の配置

退職(十一月三十日付)
山内美幸
(企画政策課情報推進室主事)

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	9,085,458円
復興支援募金	5,854,108円

*平成25年11月30日現在

わたしたちの町

人口	15,968(-37)
男	7,535(-21)
女	8,433(-16)
世帯数	6,471(-6)
12月1日現在/()は前月比	

季節の食材を使った お手軽料理レシピ

【シリーズ】 第19回
食卓の一品に
どうぞ!!

このコーナーでは、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに掲げ、食生活を通じた健康づくりに取り組んでいる食生活改善推進員協議会の皆さんに、季節の食材を使って簡単に調理できる料理を紹介していただきます。

今回は、新年を迎えるおせち料理に用いられる黒豆を使った「黒豆入りいなり寿司」。たんぱく質とともに優れた栄養素が含まれる黒豆は、病気を遠ざける体を作るといわれています。「まめに達者にすこせるように」という健康への思いで、ちょっと変わったいなり寿司をお正月の一品に加えてみてください。

今回の
料理

「黒豆入り いなり寿司」



POINT!

彩りにかぶら漬けなどを添えるのもおすすめです。

黒豆が硬いと感じられた場合は、
煎った豆を水につけてふやかす(2時間以上)、
その水で普通に炊いてもいいです。

【材料(4人分)】

- ◆米 ……………2合
 - ◆黒豆 ……………80g
 - ◆いなりあげ ……………10枚
 - ◆水菜 ……………40g
 - ◆酒 ……………20cc
 - ◆酢 ……………40cc
 - ◆砂糖 ……大さじ2・2/3 (24g)
 - ◆塩 ……………小さじ2/3 (4g)
- 〈だし汁〉
- ◆水 ……………250cc
 - ◆かつお節 ……………2.5g
 - ◆昆布 ……………2.5g
- 〈調味料〉
- ◆砂糖 ……大さじ1・1/3 (12g)
 - ◆薄口しょうゆ…小さじ1・1/2
 - ◆濃口しょうゆ ……小さじ2
 - ◆酒 ……………大さじ2
- 〈合わせ酢〉

■作り方

- ①黒豆は、ふきんで汚れをふき取り、フライパンで皮が割れるまで煎る。
- ②洗った米に①と酒を入れ、普通の水加減でご飯を炊く。
- ③合わせ酢を作り、炊き上がったご飯にまわしながら手早く混ぜる。
- ④水菜をゆでて、水気をしっかり絞り、細かく切って③に混ぜる。
- ⑤いなりあげは半分に切り、口を開き熱湯をかけて油抜きをし、だし汁と調味料を合わせた鍋で落としふたをして煮含めて冷ます。
- ⑥⑤に酢飯を詰める。

■栄養価 (1人分)

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食物繊維	塩分
434kcal	10.1g	9.0g	103mg	1.0g	1.8g

〈次回は3月号に掲載する予定です〉

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチョウ



【町の花】
つつじ



編集後記

「収穫の秋」「スポーツの秋」が終わったと思えばすぐに「師走」「年末」。最近は本当に時間が過ぎるのが早いように感じます。町の木「イチョウ」の葉も落ち、代わって登場した「冬ほたる」をはじめ家々などで輝くイルミネーション。正月はもうすぐそこに来ています。

年末年始に向けまだまだ忙しい日々が続くと思います。皆さまにはご自愛いただき、健やかに新年をお迎えになることを願っております。

今年1年大変お世話になり、ありがとうございました。(T)